

認知症者の在宅生活を維持する非訪問型の生活評価・介入システムの標準化に関する研究
—ADLの工程・動作に関わる環境因子のチェックリスト(PA-ADL)の開発—

主任研究者 池田 学（国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科情報統合医学精神医学教室）

分担研究者 中村 雅之（国立大学法人鹿児島大学 学術研究院医歯学域医学系）

釜江(繁信)和恵（公益財団法人浅香山病院 精神科 認知症疾患医療センター）

石川 智久（国立大学法人熊本大学 大学院生命科学研究部）

佐藤 俊介（国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科情報統合医学精神医学教室）

松原 茂樹（国立大学法人大阪大学 工学研究科）

田平 隆行（鹿児島大学 医歯学域医学系）

堀田 牧（国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科情報統合医学精神医学教室）

永田 優馬（国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科情報統合医学精神医学教室）

石丸 大貴（国立大学法人大阪大学 医学部附属病院）

研究要旨：

我々は認知症者の在宅生活の維持を目的に、新型コロナウイルス感染蔓延期においても専門職種が患者に出向くことなくADLや住環境の評価・生活指導を行うことができるよう、介護者に撮影を依頼した自宅写真に基づいて評価と指導を行う Photo Assessment(PA)を開発し、また、患者を Zoom で病院の多職種とつないで画面越しに生活指導を行う Online Management(O-MGT)を開始した。いずれも遠隔による生活評価や介入指導が期待できるシステムだが、現時点のPAには評価の指標がなく、評価者の職種や経験年数、聞き取り方や居室写真の着目点の違いによって評価に差が生じることが考えられた。そのため、PA評価の標準化にむけて、多職種で先行研究から12の観察項目を抽出して、本研究用の評価モデルとなる環境因子の暫定版チェックリスト(PA-ADL チェックリスト)を作成した。そして、本研究に関わる分担研究者および関連施設の多職種に、自験例から患者属性や居室の写真情報などで作成した模擬ケースとPA-ADL チェックリストを郵送し、試行評価を依頼した。

その結果、12ADL項目の工程・動作に関わる環境因子に関して、得られた回答より多くの項目で職種に関係なく高い一致率を示した。これは、限られた写真情報の中からADLを効率的かつ安全に遂行できる環境になっているか、という点に目的を絞ってチェック項目を作成・検討したことが理由として考えられた。しかし、各ADLとも、いくつかの項目においては一致度が低い項目が抽出されており、その理由として①模擬ケースの情報だけでは生活の実態を類推することが難しく判断が分かれた、②提供された写真の構図によっては、チェックしたい対象物の判別が難しかった、③チェック項目の一部表現において、評価者に的確な趣旨が伝わっていない、などが理由として考えられた。

これらの課題を見直し、PA-ADLによる生活課題の抽出とO-MGTによる生活指導が一連の非訪問型の評価・介入システムとして実働可能となるよう、PA-ADLの標準化を目指したい。

A. 研究目的

認知症者が住み慣れた地域で安心・安全な在宅生活が継続できるよう、国の政策である「認知症施策推進大綱（2019）」や「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域作りに向けて（新オレンジプラン）（2015）」では、当事者が希望をもって過ごせる社会作りの重要性や当事者の意思が尊重される地域づくりの実現を掲げている。この実現のためには、セルフケアを中心とした Basic Activities of Daily Living (BADL) や買い物・料理・服薬の管理など日常生活の応用動作である Instrumental Activities of Daily Living (IADL) といった生活に関わる行為 (ADL) をいかに認知症者自身が自立・維持できるか、また、支援を受けながら継続できるかが課題となる。そのため、我々は在宅生活を営む認知症者の地域生活支援として、当院の認知症専門外来患者および入院患者を対象に多職種協働で自宅訪問による生活指導を行ってきた。

しかし、昨今の新型コロナウイルス感染蔓延期において、自宅訪問は感染予防のため延期や自粛といった制限を受け、その間、認知症者の在宅生活の維持に欠かせない生活機能の評価および介入指導などが滞る事態となった。また、感染症蔓延下で多職種による非訪問型の生活評価に関する研究や遠隔による認知リハビリテーションの有効性を評価する研究はほぼ行われていない。そこで、我々は訪問の専門職が患家に出向くことなく ADL や住環境の評価・生活指導を行うことができるよう、介護者にデジタルカメラで患家の寝室やトイレなどの各居室や普段使っている生活家電などの撮影を依頼し、回収した写真から生活の評価を行う非訪問型の生活評価システム「Photo Assessment(PA)」を開発した (Ishimaru et al, 2022)。また、通常のデイサービスでは対応が困難な意味性認知症や後部皮質萎縮症などの若年認知症者を対象に、患家にあるパソコンやタブレットをオンライン会議システム (Zoom) で病院とつなぎ、専門職が画面越しに患者や介護者に生活指導を行う「Online Management(O-MGT)」を開始した。いずれも遠

隔による生活評価および介入指導が期待できるシステムである。本研究は、既に我々が行っている PA と O-MGT について、感染症蔓延下などの非常事態の期間や医療・介護資源が乏しい遠隔地などにおいても、一連の非訪問型の生活評価および生活指導のシステムとして機能するよう、多専門職種からの視点も踏まえて、PA と O-MGT の手順、効果の指標などの標準化を目指す。

今年度は現時点の PA および O-MGT について先行例の後方視的検証を行い、本研究用の PA 評価モデルの作成を開始した。その経過で、写真情報は生活評価の上で非常に重要であることが確認された一方、評価者の職種や経験年数、聞き取り方や居室写真の着目点の違いによって評価に差が生じることが考えられたため、PA 評価の標準化にむけて評価者側に必要とされる観察項目が抽出された評価モデルの必要性が検討された。そこで、本研究に参加する多職種とともに自験例から作成された模擬ケースを試行して、現時点の PA 評価項目の限界点および修正点を検討し、本研究用の評価モデルとなる環境因子の暫定版チェックリスト (PA-ADL チェックリスト) の作成を目的とした。

B. 研究方法

【対象】

本研究の研究分担者である医師、建築専門職、作業療法士、および関連協力施設の医師、看護師、精神保健福祉士、理学療法士、作業療法士の計 23 名が模擬ケースに参加した。大阪大学所属の作業療法士 3 名以外は PA 未経験である。内訳は、医師 7 名、看護師 3 名、精神保健福祉士 1 名、建築専門職 1 名、理学療法士 3 名、作業療法士 8 名であった。

【方法】

1. 暫定版 PA-ADL チェックリスト項目群・模擬ケースの作成

老年精神医学、認知症の経験がある作業療法士 5 名が認知症に関連する日常生活及び生活の環境因子に関する先行研究を元に暫定版を作成した。環

境チェックの大項目はADLとそのADLが行われる場所を組み合わせた、A.家の出入り-玄関、B.くつろぐ-居間、C.食事-食堂、D.食事の支度-台所、E.生活の管理-冷蔵庫/郵便物/ゴミ、F.くすりの管理-保管場所/管理道具、G.着替え-クローゼット、H.就寝-寝室、I.排泄-トイレ、J-①整容-洗面所、J-②脱衣と入浴-浴室/脱衣所、K.洗濯・物干し-洗面所/物干し場、の12項目である。また、模擬ケースは大阪大学医学部附属病院神経科精神科で既にPAを適用した自験例を元に患者属性および居室写真を作成した。

2.実施期間

2023年2月に各施設および参加者に暫定版PA-ADLチェックリストと模擬ケースを郵送し、2023年3月末までを回答返却期間とした。

3.デルファイ法を用いたチェックリスト項目の検討

暫定版PA-ADLチェックリストの各項目について、各回答者がチェックをつけた/つけていない割合を分析し、項目の整合性を確認した。チェックをつけていない場合を0、チェックをつけた場合を1とし、有効解答のうち各項目のそれぞれの割合を算出した。各項目は0か1に分かれるため、いずれか高い値を用い、一致の割合は50%-100%の範囲を示す。一致度が低い項目(50%-60%台)を中心に再検討し、暫定版PA-ADLチェックリストの改良を重ねた。

(倫理面への配慮)

対象者から大阪大学医学部附属病院神経科精神科の包括的同意を得て実施したPAの結果をもとに後方視的に検討した。

C. 研究結果

チェックリストの分析及び修正を実施した。作成したチェックリスト12項目は下図に示す。

【A.家の出入り-玄関】(図1)

各項目の一致の割合は、52.9%から100%の範囲であり、一致の割合が50%台の項目は、「施錠の手順が少ない」、「腰をかけて着脱できる場所がある」

(ともに52.9%)であった。一致の割合が60%台の項目は、「室内錠/チェーンがある」(64.7%)のみだった。回答者の不明点として「本人の靴の定位置」、「鍵の置き場はどこ?」などが挙げられた。上記より、施錠の手順について「少ない」という表現は客観性が欠けており評価者の判断が分かれた理由と考えられ、表現を「複数箇所ある」と修正した。着脱の場所についても同様に、「椅子や上がり框など」など具体的な場所を追記した。また、鍵の置き場や靴の定位置、玄関センサーの有無は写真情報から評価しづらいと判断し、削除となった。

【B.くつろぐ-居間】(図2)

各項目の一致の割合は、52.9%から100%の範囲であり、一致の割合が50%台の項目は、「趣味/余暇を過ごすために必要なスペースが十分にある」(52.9%)、「床、足元に進路を妨げるような物が置かれている」(58.8%)であった。回答者の不明点として「本人の定位置がわからない」、「趣味は何か」、「冷暖房器具があるのか」などが挙げられた。上記の定位置については写真情報から判断できないため削除としたが、「趣味/余暇」についてはくつろぐ場所で行うADLとして十分考えられるため、撮影指示内容に趣味/余暇を尋ねる欄を設けて判断の一助とすることとした。また、冷暖房については、「冷暖房=エアコン」との解釈が一定数いたことから、「エアコン、ストーブ、扇風機など冷暖房設備がある」と具体的な表現に修正した。

【C.食事-食堂】(図3)

各項目の一致の割合は、58.8%から100%の範囲であり、一致の割合が50%台の項目は、「テーブル上に食事と関係のない物が置かれている」(58.8%)であった。回答者からの不明点として「本人の定位置がわからない」が挙げられた。上記の「食事と関係のない物」については、テーブル上のティッシュやリモコンなどが食事の時間の対象者にとって必要か不必要か写真から判断できないとし、削除とした。また、定位置については他項目と同様に写真情報から判断できないため削除とした。

【D.食事の支度－台所】(図4)

各項目の一致の割合は、64.7%から100%の範囲であり、一致の割合が60%台の項目は、「スペースに見合った数の調理器具で収まっている」、「手が届く範囲に必要な道具が置かれている」、「コンロに自動消火装置がついている」、「床、足元に進路を妨げるような物が置かれている」(いずれも64.7%)であった。回答者の不明点として「家電の種類がわかりにくい」「調理器具や洗剤/スポンジ、火災報知機の場所が不明」などが挙げられた。そのため写真で判断困難な調理用品の定位置を求める項目や「スペースに見合った数の調理器具で収まっている」を削除とし、上記以外に具体的な表現の要望があった項目「コンロ周辺に引火物を置いている」を「布・油・袋・紙などの引火物がコンロ周辺にある」へ修正した。

【E.生活の管理－冷蔵庫/郵便物/ゴミ】(図5)

各項目の一致の割合は、58.8%から100%の範囲であり、一致割合が50%台の項目は、郵便物・請求書管理の「未開封の郵便物・書類を置く場所が決まっている」(58.8%)であった。一致の割合が60%台の項目は、ゴミ分別・保管の「割れ物などの危険物を別に保管できる場所がある」(64.7%)、「主要な生活導線上にゴミが置かれている」(64.7%)であった。回答者からは「自分でごみの分別はしているか？」などゴミ作業に関する不明点が挙げられた。一致率が低い「未開封の郵便物・書類を置く場所が決まっている」は他項目と統合し、「郵便物・書類を置く場所が決まっている」となった。上記以外では、冷蔵庫管理の食品の消費期限、また、郵便物の開封・未開封の区別は写真では判断困難として削除とした。「腐敗した食料品」はより具体的に「萎びた野菜や食料品」という表現へ修正した。

【F.くすりの管理－保管場所/管理道具】(図6)

模擬ケースが服薬管理対象ではなかったため、回答から検討修正はできなかった。しかし、再度項目の確認を行い、他ADL項目と同様に写真情報だ

けでは判断が難しいとされる「保管場所の定位置がある」、「本人用と家族用の区別ができる場所で保管している」、「くすりに似た物/容器などが付近に置かれていない」、「座ってくすりを飲むスペースが十分確保されている」の4項目を削除とした。

【G.着替え－クローゼット】(図7)

各項目の一致の割合は52.9%から100%の範囲であり、一致の割合が50%台の項目は「服を探し出すための十分なスペースが確保されている」(58.8%)、「着脱動作に必要なスペースが十分確保されている」(52.9%)であった。クローゼット周辺について、「十分な」という表現が曖昧で写真による広狭の判定は難しいと判断して両方を削除し、「着脱動作に必要なスペースがクローゼット前などに確保されている」と新設した。60%台の項目は「本人用と家族用の衣類を分けて収納している」、「容量に見合った衣類が収納されている」、「衣類の収納場所がまとめられている」(いずれも64.7%)であったが、写真情報だけでは判定が難しいためいずれも削除とした。一方、一致率が高かった衣類の収納方法に関する「吊るす」「たたむ」の項目は、「衣類は吊るす・畳むなどして収納されている」と一つに集約した。

【H.就寝－寝室】(図8)

各項目の一致の割合は58.8%から100%の範囲であり、一致の割合が50%台の項目は「床、足元に進路を妨げるような物が置かれている」(58.8%)であった。60%台の項目は「カーテンで照度を調整できる」、「冷暖房設備がある」(いずれも64.7%)であった。「カーテンで照度を調整できる」は、自然光だけではなく照明器具の調整も含めた「カーテンや照明器具で部屋の照度を調整できる」と具体的な表現へ修正した。また、冷暖房設備については、他ADL項目でも指摘があり、「エアコン、ストーブ、扇風機など冷暖房設備がある」と具体的な表記へ修正した。

【I.排泄－トイレ】(図9)

各項目の一致の割合は、52.9%から100%の範囲であり、一致割合が50%台の項目は、「座り/立ち上がりが必要な手すりや手の置き場がある」、「着替えの置き場所がある」(いずれも52.9%)であった。一致の割合が60%台の項目は、「座位で手が届く範囲に洗浄レバー/ボタン類がある」(64.7%)であった。回答者の不明点として「洗浄レバーがわからない」、「レバー/ボタンの様式が不明」など水栓レバーの位置に関する意見が挙げられた。写真情報から洗浄レバーの確認が困難だったことが一致率の低さに起因したと考えられたため、削除対象からは外して撮影指示を具体的に明示することを検討した。

【J-①整容－洗面所】(図10)

各項目の一致の割合は、52.9%から100%の範囲であり、一致の割合が50%台の項目は、「目を閉じたまま/手や顔が濡れたままでも、手が届く範囲に物がある」(52.9%)であった。一致の割合が60%台の項目は、「本人用と家族用に物の置き場所が分けられている」、「整容の用途別に物の置き場が分けられている」(いずれも64.7%)であった。回答者の不明点として、「本人用以外の物はどこに置いている?」、「洗顔用品とコップはある?」などの意見が挙げられた。以上から、「目を閉じたまま/手や顔が濡れたままでも、手が届く範囲に物がある」、「整容の用途別に物の置き場が分けられている」は意図が伝わりにくいと判断し削除した。また、一致率は低くなかった項目で「本人が使う物の定位置がある」に関しては、写真情報からどれが本人用の物かを判別しづらいため削除とした。

【J-②脱衣と入浴－浴室/脱衣所】(図11)

各項目の一致の割合は、52.9%から100%の範囲であり、一致割合が50%台の項目は、「タオルの置き場所がある」(58.8%)、「着替えの置き場所がある」(52.9%)、「シャンプー類にラベル表示がある」(58.8%)、「本人用と家族用に物の置き場所が分けられている」(52.9%)であった。一致の割合が60%

台の項目は、「浴室の扉は外開き/折れ戸である」、「浴槽の出入りに手すりや手の置き場がある」(いずれも64.7%)であった。回答者の不明点として「蛇口操作や湯沸かしボタンの操作は可能か?」、「着替えの置き場所はどこ?」、「浴室出入りの手すりの有無はアングルからはわかりづらい」、「浴槽の跨ぎは判断しづらい」という意見が挙げられた。上記の「タオル・着替えの置き場所」「シャンプー類のラベル」の項目は、一致の割合が低いものの日常評価では重要項目のため削除対象から外した。「本人用と家族用に物の置き場所が分けられている」は、写真情報から判断することが難しいため削除した。

【K.洗濯・物干し－洗面所/物干し場】(図12)

各項目の一致の割合は、52.9%から100%の範囲であり、一致の割合が50%台の項目は、「アース線の取り付けをしている」と「洗濯物を干す道具の定位置がある」(いずれも52.9%)であった。一致の割合が60%台の項目は、「使用する洗剤の形状が決まっている(粉状、液状、ボール型)」、「操作に必要なスイッチの数が多い」(いずれも64.7%)であった。回答者の不明点として「実際にどの程度洗濯機の操作に関与しているか」、「干場が確定できない」など機器の操作や物干しまでの動線に関する意見が挙げられた。以上から、上記の「アース線」はプラグとアースの適切な挿入を確認する項目へ修正し、洗剤類については様々な形状でも扱っていることが確認できる尋ね方へ修正した。また、物干し場の有無や動線については、外の出入りが確認できるよう外履きへの履き替えの有無を尋ねる項目へ修正した。

D. 考察

今回、専門家で作成した暫定版PA-ADLチェックリストを用いて模擬ケースから項目の検討を行った。

12項目の各ADLの工程・動作に関わる環境因子に関して、得られた回答より多くの項目で職種に関係なく高い一致率を示した。これは、限られた

写真情報の中から ADL を効率的かつ安全に遂行できる環境になっているか、という点に目的を絞ってチェック項目を作成・検討したことが理由として考えられた。しかし、各 ADL とも、いくつかの項目においては一致度が低い項目が抽出された。これは、①今回の模擬ケースの情報だけでは生活の実態を類推することが難しく判断が分かれたこと、②提供された写真の構図によっては、チェックしたかった対象物の判別が難しかったこと、③チェック項目の一部表現において、評価者に的確な趣旨が伝わっていなかったこと、などが影響していると考えられた。

①については、今回参加した職種から環境因子のチェックに留まらず、「自分の服の出し入れはしている?」、「布団の上げ下げは本人?」というように、模擬ケースに含まれていた患者属性や居室の写真情報だけでは評価ができない ADL の詳細や生活習慣に関する質問が多く寄せられた。各専門職の模擬ケース評価に対する姿勢が高かったことや、「暫定版 PA-ADL は『写真による客観評価』が主目的」という主旨を参加職種に対して簡潔に説明する必要があったと考える。

②については、暫定版 PA-ADL に記載されているチェック項目と対応する評価対象物が写真に写っていないケースがいくつかあったため、確認ができずに「不明」となるミスリードが起きた。現時点の PA には介護者が指示された写真を撮影するための「撮影の手引き」があるため、今後はその手引きの撮影指示内容や撮影順番などを暫定版 PA-ADL に合わせる作業が必要となる。その上で、手引きの指示に合わせて撮影された写真とチェック項目の内容に齟齬が生じていないか、また、簡潔で明瞭な指示表現で構成されているかの検証が必要である。

③については、「G.着替え」の項目を例にすると、一致率が低くて抽出された項目文は、「服を探し出すための十分なスペースが確保されている」、「着脱動作に必要なスペースが十分確保されている」と表現されている。また、「A.家の出入り」の例では、「施錠の手順が少ない」との表記であり、い

れも評価者間で判断が分かれる表記が一致率の低下へ影響があったと考えられた。これら表現は判断に客観性を維持するためにも、修正もしくは削除の対象となり表記の統制を図る契機になった。

これらの課題を全職種で見直し、専門職種間で写真情報による観察点に相違が生じにくい暫定版 PA-ADL チェックリストの最終修正に取り組む。

E. 結論

暫定版 PA-ADL は、写真に映し出されている居室の一場面から生活環境を把握し、対象者の目的とする ADL が効率的かつ安全に遂行できる状況なのかを判定する観察チェック表である。通常、認知症者の自宅訪問指導を行っているどの専門職においても、生活の場の環境因子について評価の相違が生じないチェックリストとなれば、感染症蔓延下だけではなく、医療資源が少ない地域で在宅生活を営む認知症者についても活用・応用することが期待でき、対象者の ADL の改善に大きく寄与することが考えられた。PA-ADL による生活課題の抽出と O-MGT による生活指導が一連の非訪問型の評価・介入システムとして実働可能となるよう、PA-ADL の標準化を目指したい。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Edahiro A, Okamura T, Arai T, Ikeuchi T, Ikeda M, Utsumi K, Ota H, Kakuma T, Kawakatsu S, Konagaya Y, Suzuki K, Tanimukai S, Miyanaga K, Awata S. Initial symptoms of early-onset dementia in Japan: nationwide survey. *Psychogeriatrics*. 2023 Feb 22. doi: 10.1111/psyg.12949.
2. Mori K, Gotoh S, Uozumi R, Miyamoto T, Akamine S, Kawabe Y, Tagami S, Ikeda M. RNA Dysmetabolism and Repeat-Associated Non-

- AUG Translation in Frontotemporal Lobar Degeneration/Amyotrophic Lateral Sclerosis due to *C9orf72* Hexanucleotide Repeat Expansion. *JMA J.* 2023 Jan 16;6(1):9-15. doi:10.31662/jmaj.2022-0160.
3. Aoki Y, Takahashi R, Suzuki Y, Pascual-Marqui RD, Kito Y, Hikida S, Maruyama K, Hata M, Ishii R, Iwase M, Mori E, Ikeda M. EEG resting-state networks in Alzheimer's disease associated with clinical symptoms. *Sci Rep.* 2023 Mar 9;13(1):3964. doi: 10.1038/s41598-023-30075-3.
 4. Hata M, Watanabe Y, Tanaka T, Awata K, Miyazaki Y, Fukuma R, Taomoto D, Satake Y, Suehiro T, Kanemoto H, Yoshiyama K, Iwase M, Ikeda S, Nishida K, Takekita Y, Yoshimura M, Ishii R, Kazui H, Harada T, Kishima H, Ikeda M, Yanagisawa T. Precise Discrimination for Multiple Etiologies of Dementia Cases Based on Deep Learning with Electroencephalography. *Neuropsychobiology.* 2023 Jan 19:1-10. doi: 10.1159/000528439.
 5. Odachi R, Yamakawa M, Nakashima K, Kajiwarra T, Takeshita Y, Iwase M, Tsukuda J, Ikeda M. Feasibility study of comfort with and use of sleep visualisation data from non-wearable actigraphy among psychiatric unit staff. *Psychogeriatrics.* 22(5), 764-766,2022
 6. Marutani N , Akamine S , Kanayama D, Gotoh S , Yanagida K , Maruyama R, Mori K , Miyamoto T , Adachi H , Sakagami Y, Yoshiyama K , Hotta M , Nagase A, Kozawa J , Maeda N , Otsuki M, Matsuoka T, Iwahashi H, Shimomura I, Murayama N , Watanabe H , Ikeda M , Mizuta I , Kudo T. Plasma NfL is associated with mild cognitive decline in patients with diabetes. *Psychogeriatrics.*22(5), 353-359,2022
 7. Tabira T , Hotta M , Maruta M, Ikeda Y, Shimokihara S, Han G, Yamaguchi T, Tanaka H, Ishikawa T , Ikeda M . Characteristic of process analysis on instrumental activities of daily living according to the severity of cognitive impairment in community-dwelling older adults with Alzheimer's disease. *Int Psychogeriatr.* Jul 15, 1-12,2022
 8. Yoshiura K, Fukuhara R, Ishikawa T, Tsunoda N, Koyama A, Miyagawa Y, Hidaka Y, Hashimoto M, Ikeda M , Takebayashi M, Shimodozono M. Brain structural alterations and clinical features of cognitive frailty in Japanese community-dwelling older adults: the Arao study (JPSC-AD). *Sci Rep.* 17;12(1),8202,2022
 9. Shimokihara S, Tabira T , Hotta M , Tanaka H, Yamaguchi T, Maruta M, Han G, Ikeda Y, Ishikawa T , Ikeda M . Differences by cognitive impairment in detailed processes for basic activities of daily living in older adults with dementia. *Psychogeriatrics.* 22(6), 859-868,2022
 10. Nagata Y , Hotta M , Satake Y, Ishimaru D , Suzuki M, Ikeda M .Usefulness of an online system to support daily life activities of outpatients with young-onset dementia: a case report. *Psychogeriatrics.* 22(6),890-894,2022
 11. Nagata Y , Nishikawa T , Tanaka H , Ishimaru D , Ogawa Y , Fukuhara K , Shigenobu K , Ikeda M .Factors influencing the quality of life in patients with severe dementia. *Psychogeriatrics.* 22(1),49-54,2022
 12. Ishimaru D , Kanemoto H, Hotta M , Nagata Y , Satake Y, Taomoto D, Ikeda M . Case Report: Treatment of Delusions of Theft Based on the Assessment of Photos of Patients' Homes. *Frontiers in psychiatry.*13.825-710,2022
 13. 鈴木麻希, 高崎昭博, 中牟田なおみ, 池田学. 前頭側頭型認知症に対する治療と仕事の両立支援の特徴とコツ 老年精神医学雑誌 34:35-42,2023
 14. 石丸大貴, 鈴木麻希, 堀田牧, 永田優馬, 埴本大喜, 梅田寿美代 ,池田学. Posterior cortical atrophy 患者に対する残存機能を活かした生活環境の工夫—リハビリテーション介入の一例 精神科治療学雑誌 38(3):349-355,2023

15. 繁信和恵, 池田学. 認知症におけるとらわれ・こ
だわりの臨床と対応 精神科治療学 38:225-231,
2023
 16. 繁信和恵, 石川智久, 池田学. 地域包括ケアにお
けるリーダーシップ認知症疾患医療センターと地
域包括ケア 老年科 5:107-112,2022
 17. 堀田 牧, 池田 学. 認知症疾患別の生活行為の
障害とリハビリテーション～認知症リハビリテー
ションの進歩と作業療法士への期待 公衆衛生
86(10):860-869,2022
 18. 池田学. 精神医学的面接. 今日の治療指針(福
井次矢ら編) 医学書院, 東京, 1021, 2023
 19. 池田学. 前頭側頭葉変性症. 第5版わかりやす
い内科学(井村裕夫編) 文光堂, 東京, 585-586,
2023
2. 学会発表
(招待講演)
 1. Japanese FTD Consortium (FTLD-J), FTD
Prevention Initiative 2022, Paris, November 1,
2022
 2. Initial-phase Intensive Support Team for
Dementia in Japan, Satellite Symposium at Tainan,
The 16th International Congress of the Asian
Society Against Dementia, EB, September 19,
2022
 3. A Japanese cross-sectional questionnaire-based
study on treatment needs of patients with
dementia with Lewy bodies and their caregivers
and physicians, International Lewy Body Dementia
Conference 2022, Newcastle upon Tyne, June15-
17, 2022
 4. 「withコロナ時代における認知症の人のための生
活支援」日本認知症ケア学会 2021年度北海道ブ
ロック大会,札幌WEB,1月,2022
 5. 「認知症の口腔機能と食行動」日本補綴歯科学会
第131回学術大会, 大阪, 7月17日, 2022
 6. 「認知症診療の基本」第35回近畿地区精神科合同
卒後研修講座,大阪, 7月23日,2022
 7. 「医療・介護の連携と認知症グループホームへの
期待」第23回日本認知症グループホーム全国大
会, 三重,10月26日-27日, 2022
 8. 「前頭側頭型認知症研究の課題と展望」第37
回日本老年精神医学会・第41回日本認知症学
会学術集会, 東京, 11月25日-27日, 2022
(シンポジウム)
 1. ICD を適切に使うための知識 「ICD-11 における
神経認知障害群」第 118 回日本精神神経学会学術
総会, 福岡, 6月 16日-18日,2022
 2. 前頭葉性行動障害の症候学「脱抑制」第 27 回日本
神経精神医学会, WEB, 10月 14日-15日, 2022
 3. 認知症疾患医療センターにおける作業療法士の役
割「認知症の人の望む生活や社会参加を実現するた
めに作業療法への期待」第 37 回日本老年精神医学
会・第 41 回日本認知症学会学術集会,東京,11月 25
日-27日,2022
 4. 認知症初期集中支援チームの認知症医療に果たす
役割「全国調査から見えてきた認知症初期集中支援
チームの活動状況」第 37 回日本老年精神医学会・
第 41 回日本認知症学会学術集会, 東京, 11月 25日
-27日,2022
- H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)
 1. 特許取得
なし
 2. 実用新案登録
なし
 3. その他
なし

参考：暫定版チェックリストの概要

(図 1)

| A.家の出入り(エントランス・玄関周辺) | | 環境特性 | 要確認事項 |
|---|---|--|--|
| 鍵の 開け 閉め ・ 玄関 から の 出 入 り | <input type="checkbox"/> 片開きドア | <input type="checkbox"/> 引き戸 | <input type="checkbox"/> シリンダー錠 |
| | <input type="checkbox"/> 上がり框 (腰かけられる高さ30cm程度) | <input type="checkbox"/> 上がり框 (20cm未満) | <input type="checkbox"/> 造り付の靴箱 |
| | 工程・動作の質 | | 工程・動作にかかわる環境因子 |
| | ① 効率的観点 | | <input type="checkbox"/> 施錠が複数箇所ある |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 住人の数以上の靴が出されている |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> 玄関が靴や傘以外の物であふれている | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | |
| | ② 安全性の観点 | | <input type="checkbox"/> 室内錠/チェーンがある |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 靴の着脱に必要な手すりがある |
| <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 椅子や上がり框など腰をかけて着脱できる場所がある | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 玄関マットが敷かれている | | |
| (火災、物品落下などによるケガ) | | <input type="checkbox"/> スリッパの履き替えがある | |
| <input type="checkbox"/> 他の問題 () | <input type="checkbox"/> 自然光や点灯で十分な明るさがある | | |

(図 2)

| B.くつろぐ(リビング、自室、庭周辺) | | 環境特性 | 要確認事項 |
|--|---|---|--|
| 余 暇 と し て 過 ご す ・ 日 中 よ く 過 ご す 場 所 | <input type="checkbox"/> 座式 | <input type="checkbox"/> いす式 | <input type="checkbox"/> テレビ |
| | <input type="checkbox"/> ラジオ | <input type="checkbox"/> パソコン | |
| | 工程・動作の質 | | 工程・動作にかかわる環境因子 |
| | ① 効率的観点 | | <input type="checkbox"/> リモコン・雑誌・新聞など趣味/余暇に関連する物が部屋にある |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 趣味/余暇を過ごすために必要なスペースが十分にある |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | |
| | ② 安全性の観点 | | <input type="checkbox"/> (イス) 足底が床につく高さがある/ (座) 足を崩した姿勢でもくつろげる卓の高さがある |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 座り/立ち上がりに必要なささえや手の置き場がある |
| <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 座り/立ち上がりに必要なスペースが十分確保されている | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> エアコン、ストーブ、扇風機など冷暖房設備がある | | |
| (火災、物品落下などによるケガ) | | <input type="checkbox"/> 換気ができる窓/開口部がある | |
| <input type="checkbox"/> 他の問題 () | <input type="checkbox"/> 自然光や点灯で十分な明るさがある | | |
| | | <input type="checkbox"/> 床、足元に進路を妨げるような物が置かれている | |

(図 3)

| C. 食事(ダイニング周辺) | | 環境特性 | 要確認事項 |
|--|---|--|---|
| 着 座 し て 食 事 を と り 終 え る ま で | <input type="checkbox"/> 座式 | <input type="checkbox"/> いす式 | <input type="checkbox"/> テレビ |
| | <input type="checkbox"/> ラジオ | | |
| | 工程・動作の質 | | 工程・動作にかかわる環境因子 |
| | ① 効率的観点 | | <input type="checkbox"/> 食事をとるための十分な卓上スペースがある |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> テーブル上が整理されている |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> テーブルとテーブル上の物が同色系でまとめられている | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | |
| | ② 安全性の観点 | | <input type="checkbox"/> (イス) 足底が床につく高さがある/ (座) 足を崩した姿勢でも食事がとれる卓の高さがある |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 自然光や点灯で十分な明るさがある |
| <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 床、足元に進路を妨げるような物が置かれている | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) | | | |
| (火災、物品落下などによるケガ) | | | |
| <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | | |

(図 4)

| D. 食事の支度(台所周辺) | | 環境特性 | | 要確認事項 |
|--|---|--|--------------------------------|-------|
| 調理の準備から片付けまで | <input type="checkbox"/> オープンキッチン | <input type="checkbox"/> セミオープンキッチン | <input type="checkbox"/> IHコンロ | |
| | <input type="checkbox"/> ガスコンロ(自動消火装置付き) | <input type="checkbox"/> ガス警報器 | <input type="checkbox"/> 電子レンジ | |
| | <input type="checkbox"/> 冷蔵庫 | <input type="checkbox"/> 造り付の収納 | <input type="checkbox"/> 食器棚 | |
| | 工程・動作の質 | 工程・動作にかかわる環境因子 | | 要確認事項 |
| | ① 効率的観点 | <input type="checkbox"/> 水仕事に必要なシンクスペースが十分確保されている | | |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | <input type="checkbox"/> 生ごみや洗っていない食器が放置されたままになっている | | |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> 調理作業に必要な調理台のスペースが十分確保されている | | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | <input type="checkbox"/> 煮炊き作業に必要なコンロスペースが十分に確保されている | | |
| | <input type="checkbox"/> 問題なし | <input type="checkbox"/> シンク⇔コンロ⇔調理台などの動線が確保されている | | |
| | | <input type="checkbox"/> 調理に関連のない物が置かれている | | |
| | <input type="checkbox"/> 同じ種類の調理器具が重複している | | | |
| | <input type="checkbox"/> 手が届く範囲に必要な道具が置かれている | | | |
| ② 安全性の観点 | <input type="checkbox"/> 布・油・袋などコンロ周辺に引火物がある | | | |
| 高・低いずれかに必ずチェックしてください | <input type="checkbox"/> 自然光や点灯で十分な明るさがある | | | |
| <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 床、足元に進路を妨げるような物が置かれている | | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) (火災、物品落下などによるケガ) | | | | |
| <input type="checkbox"/> 問題なし | | | | |

(図 5)

| E. 生活の管理(冷蔵庫/ゴミ分別/郵便物) | | 環境特性 | | 要確認事項 |
|--|--|---|--------------------------------|-------|
| 冷蔵庫内の管理 | <input type="checkbox"/> 2ドア | <input type="checkbox"/> 3ドア以上 | <input type="checkbox"/> 専用冷凍庫 | |
| | 工程・動作の質 | 工程・動作にかかわる環境因子 | | 要確認事項 |
| | ① 効率的観点 | <input type="checkbox"/> 保存容器に食品名/日付などのラベル表示がある | | |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | <input type="checkbox"/> 冷蔵庫の容量に合った貯蔵量 | | |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> 重複した食料品を過剰に貯蔵している | | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | | | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | | |
| | ② 安全性の観点 | <input type="checkbox"/> 萎びた野菜や食料品が貯蔵されている | | |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | <input type="checkbox"/> 食料品以外の物が貯蔵されている | | |
| | <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 冷蔵庫の上に物が積まれている | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) (火災、物品落下などによるケガ) | | | | |
| <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | | | |
| ごみの分別と保管 | 環境特性 | | 要確認事項 | |
| | <input type="checkbox"/> 台所周辺 | <input type="checkbox"/> 勝手口周辺 | <input type="checkbox"/> ベランダ | |
| | 工程・動作の質 | 工程・動作にかかわる環境因子 | | 要確認事項 |
| | ① 効率的観点 | <input type="checkbox"/> ゴミの種類別にゴミ箱が分類されている | | |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | <input type="checkbox"/> ゴミの分別/収集動作に必要なスペースが十分確保されている | | |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> ゴミ箱にラベル表示がある | | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | <input type="checkbox"/> ゴミ出しカレンダーがある | | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | | |
| | ② 安全性の観点 | <input type="checkbox"/> ゴミ箱の容量以上にゴミを保管している | | |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | <input type="checkbox"/> 床、足元に進路を妨げるようなゴミがある | | |
| <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | | | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) (火災、物品落下などによるケガ) | | | | |
| <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | | | |
| 郵便物・重要書類の管理 | 環境特性 | | 要確認事項 | |
| | <input type="checkbox"/> テーブル/卓上 | <input type="checkbox"/> キャビネット | <input type="checkbox"/> 書類ケース | |
| | 工程・動作の質 | 工程・動作にかかわる環境因子 | | 要確認事項 |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | <input type="checkbox"/> 郵便物・書類を置く場所が決まっている | | |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> 郵便物や書類を分類して置いている | | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | | | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

(図 6)

| F.くすりの管理(保管場所周辺) | | 環境特性 | 要確認事項 |
|--|---|---|---|
| くすりの準備から飲むまで | <input type="checkbox"/> 寝室 | <input type="checkbox"/> リビング | <input type="checkbox"/> ダイニング |
| | <input type="checkbox"/> 台所 | <input type="checkbox"/> 洗面所 | <input type="checkbox"/> 服薬補助機器 |
| | 工程・動作の質 | | 工程・動作にかかわる環境因子 |
| | ① 効率的観点 | | <input type="checkbox"/> 薬の保管・管理道具を使用している |
| | 高・低いいずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> くすりを小分けするハサミ/パンチなどの補助具が付近にある |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> 日時を確認できる時計やカレンダーが付近にある | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | |
| | ② 安全性の観点 | | <input type="checkbox"/> くすりを確認できる眼鏡や虫眼鏡などの補助具が付近にある |
| | 高・低いいずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> くすりを確認できる十分な明るさがある |
| <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> くすりを飲むスペースが十分確保されている | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) | | | |
| (火災、物品落下などによるケガ) | | | |
| <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | | |

(図 7)

| G.着替え(クローゼット、たんす) | | 環境特性 | 要確認事項 |
|--|---|---|--|
| 着たい服を取り出して着替える | <input type="checkbox"/> ウォークインクローゼット | <input type="checkbox"/> 造り付のクローゼット/棚 | <input type="checkbox"/> 押し入れ収納 |
| | <input type="checkbox"/> 洋服ダンス | <input type="checkbox"/> 和ダンス | <input type="checkbox"/> 衣装ケース |
| | 工程・動作の質 | | 工程・動作にかかわる環境因子 |
| | ① 効率的観点 | | <input type="checkbox"/> 衣類は吊るしたり畳んだりして収納されている |
| | 高・低いいずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 収納にラベルがある |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> 着脱動作に必要なスペースがクローゼット前などに確保されている | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | <input type="checkbox"/> 衣類が床、椅子などに積まれている | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | |
| | ② 安全性の観点 | | <input type="checkbox"/> 腰をかけて着脱できる場所がある |
| | 高・低いいずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 自然光や点灯で十分な明るさがある |
| <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 床、足元に進路を妨げるような物が置かれている | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) | | | |
| (火災、物品落下などによるケガ) | | | |
| <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | | |

(図 8)

| H.就寝(寝室、ベッド周辺) | | 環境特性 | 要確認事項 |
|--|--|--|---|
| 入床から起床まで | <input type="checkbox"/> 布団 | <input type="checkbox"/> ベッド | <input type="checkbox"/> 畳 |
| | <input type="checkbox"/> フローリング | <input type="checkbox"/> カーペット | <input type="checkbox"/> カーテン |
| | 工程・動作の質 | | 工程・動作にかかわる環境因子 |
| | ① 効率的観点 | | <input type="checkbox"/> 本人の定位置がある |
| | 高・低いいずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 寝具を広げやすいスペースがある |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> 枕元に照明スイッチ/リモコン類がある | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | <input type="checkbox"/> カーテンや照明器具で部屋の照度を調整できる | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | <input type="checkbox"/> 就寝以外の使用目的を兼ねている (仏間、物置など) | |
| | ② 安全性の観点 | | <input type="checkbox"/> ベッドからの起居/立ち上がりに必要なささえ手の置き場所がある |
| | 高・低いいずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 枕元や足元に照明がある |
| <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> エアコン、ストーブ、扇風機など冷暖房設備がある | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 換気ができる窓/開口部がある | | |
| (火災、物品落下などによるケガ) | | <input type="checkbox"/> 自然光や点灯で十分な明るさがある | |
| <input type="checkbox"/> 他の問題 () | <input type="checkbox"/> 床、足元に進路を妨げるような物が置かれている | | |

(図 9)

| I. 排泄(トイレ周辺) | | 環境特性 | 要確認事項 |
|--|---|---|--|
| 排泄 姿勢・ 後処 理ま で | <input type="checkbox"/> 和式 | <input type="checkbox"/> 洋式 | <input type="checkbox"/> 手洗い器付き |
| | <input type="checkbox"/> レバー式 | <input type="checkbox"/> ボタン・パネル式 | <input type="checkbox"/> 手洗い器独立 |
| | 工程・動作の質 | | 工程・動作にかかわる環境因子 |
| | ① 効率的観点 | | <input type="checkbox"/> 座位で手が届く範囲に洗浄レバー/ボタン類がある |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 洗浄ボタンが複数ある |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> トイレに関連のない物が置かれている | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | |
| | ② 安全性の観点 | | <input type="checkbox"/> トイレの扉は内開きである |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 座り/立ち上がりが必要な手すりがある |
| <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 座り/立ち上がりが必要なスペースが十分確保されている | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 方向転換できる十分なスペースがある | | |
| (火災、物品落下などによるケガ) | | <input type="checkbox"/> トイレマットがある | |
| <input type="checkbox"/> 他の問題 () | <input type="checkbox"/> スリッパの履き替えがある | | |
| | | <input type="checkbox"/> 自然光や点灯で十分な明るさがある | |
| | | <input type="checkbox"/> 床、足元に進路を妨げるような物が置かれている | |

(図 10)

| J.-① 整容(洗面所周辺) | | 環境特性 | 要確認事項 |
|---|---|--|---|
| 洗 顔・ 歯 磨 き・ 整 髪 な ど | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ | <input type="checkbox"/> 歯磨き粉 | <input type="checkbox"/> せっけん・ハンドソープ |
| | <input type="checkbox"/> タオル | <input type="checkbox"/> 洗顔用品 | <input type="checkbox"/> ヘアブラシ |
| | 工程・動作の質 | | 工程・動作にかかわる環境因子 |
| | ① 効率的観点 | | <input type="checkbox"/> 収納にラベルが貼ってある |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 住人の数以上の洗面・整容用品物があふれている |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> 洗面・整容に関係のない物が置かれている | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | |
| | ② 安全性の観点 | | <input type="checkbox"/> 整容動作に必要な高さが十分確保されている |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 整容動作に必要なスペースが十分確保されている |
| <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 自然光や点灯で十分な明るさがある | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 床、足元に進路を妨げるような物が置かれている | | |
| (火災、物品落下などによるケガ) | | | |
| <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | | |

(図 11)

| J.-② 脱衣と入浴(浴室・脱衣所周辺) | | 環境特性 | 要確認事項 |
|---|--|--|--------------------------------------|
| 浴 室 へ の 出 入 り ・ 入 浴 動 作 ・ 体 の 拭 き 取 り | <input type="checkbox"/> ユニットバス | <input type="checkbox"/> 据え置き浴槽 | <input type="checkbox"/> 風呂おけ |
| | <input type="checkbox"/> 風呂イス | <input type="checkbox"/> 風呂ふた | <input type="checkbox"/> バスマット |
| | 工程・動作の質 | | 工程・動作にかかわる環境因子 |
| | ① 効率的観点 | | <input type="checkbox"/> タオルの置き場所がある |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 着替えの置き場所がある |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> シャンプー類にラベルが貼ってある | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | <input type="checkbox"/> 入浴に関係のない物が置かれている | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | |
| | ② 安全性の観点 | | <input type="checkbox"/> 暖房設備がある |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 浴室の扉は内開きである |
| <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 浴室の出入りに手すりがある | | |
| <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 浴槽の出入りに手すりがある | | |
| (火災、物品落下などによるケガ) | | <input type="checkbox"/> 浴槽は支えがあればまくことが出来る程度の深さである | |
| <input type="checkbox"/> 他の問題 () | <input type="checkbox"/> 浴室内に温度設定の設備がある (水栓/パネル) | | |
| | | <input type="checkbox"/> 洗体動作に必要なスペースが確保されている | |
| | | <input type="checkbox"/> 体を拭き上げるスペースが十分にある | |
| | | <input type="checkbox"/> 着脱動作に必要なスペースが十分にある | |
| | | <input type="checkbox"/> 腰をかけて着脱できる場所がある | |
| | | <input type="checkbox"/> 自然光や点灯で十分な明るさがある | |
| | | <input type="checkbox"/> 床、足元に進路を妨げるような物が置かれている | |

(図 12)

| K.洗濯と物干し(洗濯機、物干し場周辺) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|--|---|----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|-------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 洗濯機の操作・洗濯もの取り込みまで | 工程・動作の質 | | 環境特性 | | 工程・動作にかかわる環境因子 | | 要確認事項 | | | | | | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 二層式 | <input type="checkbox"/> セパレート乾燥機 | <input type="checkbox"/> タテ型 | <input type="checkbox"/> ベランダ物干し | <input type="checkbox"/> 乾燥機付きドラム型 | <input type="checkbox"/> 庭物干し | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ① 効率的观点 | | <input type="checkbox"/> 複数の種類・形状(粉状、液状、ボール型)の洗剤が用意 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 操作スイッチにシール(テープ)が貼ってある | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 動作に時間がかかる (高・低) | <input type="checkbox"/> 洗濯に関係のない物が周辺に置かれている | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 動作エラーが増える (高・低) | <input type="checkbox"/> 洗濯物を取り出せる十分なスペースがある | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ② 安全性の観点 | | <input type="checkbox"/> プラグ/アース線が挿入されている | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高・低いずれかに必ずチェックしてください | | <input type="checkbox"/> 洗濯機の上スペースに物があふれている | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 転倒・転落のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 洗濯ものを干す動作十分なスペースがある | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 家庭内事故のリスク (高・低) | <input type="checkbox"/> 外履きへの履き替えがある | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (火災、物品落下などによるケガ) | | <input type="checkbox"/> 自然光や点灯で十分な明るさがある | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 他の問題 () | | <input type="checkbox"/> 床、足元に進路を妨げるような物が置かれている | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |